

■ JSTTの委員会活動

○第8回理事会

3月9日(水)(公社)日本推進技術協会会議室において理事が12名、監事2名、顧問1名、オブザーバー2名の17名の出席により開催した。

事務局より5議案提案されいずれも提案どおり議決され、議決案件は6月21日(火)に予定されている総会に提案・報告する。

○企画委員会

1月26日(火)企画委員会を開催した。JSTTの役割として国内の技術の普及・展開と海外との窓口機能の活用といった視点でフリーディスカッションを行い、今回作成した「地下管渠工事の社会的費用一算定の手引き(草案)」(ソーシャルコスト検討委員会)及び「非開削地下探査技術適用の手引き(草案)」(地下探査技術委員会)を核に説明会の開催や他誌への投稿などにより非開削技術の普及・展開を図ることやJICAに対して諸外国における日本の非開削技術がインフラ整備に果たす役割について理解を深める取組みの重要性などの話し合いを行った。

○機関誌「No-Dig Today」編集委員会、編集企画小委員会

【編集委員会】

1月15日(金)編集委員会では94号の完成を確認するとともに95号の執筆検討依頼先の検討を行った。また、施策として機関紙モニターの継続、100号記念誌企画委員会の設置、機関誌「No-Dig Today」の表紙の募集を行うこととした。

【編集企画小委員会】

- ・1月15日(金)の編集企画小委員会では、編集委員会に提案する「平成27年モニター実施(案)」「表紙の募集(案)」「100号企画特別委員会の設置(案)」について審議した。
- ・3月2日(水)の編集企画小委員会では、95号の入稿状況を確認するとともに96号(7月1日発行)の特集テーマ「地上からの調査・探査・診断技術」の執筆検討依頼先について審議した。また、先月23日に開催された機関紙モニター懇談会模様が報告された。

○HDD(誘導式水平ドリル)工法委員会

1月19日(火)に開催した。2月5日(金)に予定している名古屋でのHDD講習会の出席者や講師の割当て、講習内容、資料、受付の手順等について確認し、講習会の準備を整えた。

○HDD技術講習会(名古屋)

2月5日(金)名古屋で「環境に優しい推進(HDD工法)技術講習会」を35名の参加により開催した。東京以西では初めての講習会だったが、今後ともにPRにつとめることとした。

○地下探査技術委員会

2月5日(金)地下探査技術委員会を開催した。「非開削地下探査技術適用の手引き(草案)」について最終案を再度確認の上再度検討箇所を精査し、4月に予定されている技術委員会に提出することとした。

○ソーシャルコスト検討委員会

3月3日(木)ソーシャルコスト検討委員会を開催した。12月から実施している意見照会案件について審議した。さらに草案をもう一度全体を通して読み込み不明点等に対応し4月に予定されている技術委員会に提出することとした。

○工法ナビゲーションシステム運営委員会

3月9日(水)に開催した。平成28年度は「特殊工法」および「農業用水管更生工法」の新設・充実に取り組むこととした。また、

1月、2月の1日当たりの訪問者数は今までの800件程度を大きく上回る1,000件を超えたことが報告された。

○「No-Dig Today」モニター懇談会

平成27年は、14名の方々にモニターをお願いし、1年間活動していただき、誌面にそのご意見等を掲載させていただきました。モニターの方々のご協力に深く感謝申し上げます。

今回モニターを終了に当たり2月23日(火)(午前11時~12時)懇談会を開催したところ、業務の都合で6名の方が欠席され8名の出席でした。当協会からは安中会長、石川編集委員長(副会長)、黒岩編集企画小委員長と小谷事務局長、編集室から大屋・赤坂氏が出席しました。

冒頭、安中会長や石川編集委員長、黒岩編集企画小委員長からの挨拶の中でねぎらいの言葉やモニターを始める経緯や期待したことなどについてお話がありました。

つづいてモニターの方々から所属とモニターを体験して一言の自己紹介を行い、2班に分かれてそれぞれのテーマについて話し合っていたいただき結果を報告してもらいました。

以下にそれぞれのモニターからの発表をかいつまんで報告します。

【モニターを体験して】

- ・じっくり読む機会ができて、新しい知識を得ることができ自分自身の勉強になった
- ・記事内容について質問したり、意見を聞いたりする機会が増え社内で交流機会が増えた
- ・業界の動向などを知る情報源となった
- ・いろいろな改良などのアイデアは専門分野以外にもありそうで、広い知見を持つ大切さを感じた
- ・連載記事には、なかなか知りえない情報が詰まっていた、大変参考になる
- ・困難なことに向かって新しいものを開発する意義を改めて感じた等

【懇談会にご参加いただいたモニターの方々】

- 東海林千春氏 日本ヒューム(株)
 國見 英治氏 芦森工業(株)
 津崎 将人氏 大成機工(株) ((一社)日本水道工業団体連合会)
 黒瀬 亜樹氏 (株)イセキ開発工機
 池田 恵氏 管清工業(株)
 西脇 和也氏 日本水工設計(株)
 吉田 剣氏 ラサ工業(株)
 田熊 章氏 東亜グラウト工業(株)

■ 機関誌「No-Dig Today」表紙の絵柄の募集

- 募集内容：表紙にふさわしい写真、絵画、図案、企画等
 - ・非開削技術や地下埋設物に関連する内容が好ましいが、これによらないものも応募は可
 - ・年4回発行のため、4作シリーズ(四季を意識)が好ましい。4作の意図、思いを併記ください。
- 募集期間：平成28年4月1日から平成29年2月28日
- 応募方法：写真はファイルで、写真以外のものは応募するものを写真に撮り、事務局へファイルとして送ってください(4作で応募一件)。
- 謝 礼：採用作品 応募一件……30,000円
 採用のものについては、後日ご連絡いたします。